

令和7年度 林分条件調査表

森林管理署 三陸中部森林管理署

物件番号 1

物件名 森林環境保全整備事業(火ノ土山地区)

林小班	保安林種別等	主要樹種	林齡	事業区分	伐採方法	面積 ha	伐採率 %	平均胸高 直径 cm	立木資材量			生産量			予定作業量											最寄り市町村 からの距離 km	備考				
									本数	材積 m³	m³/本 m³	N m³	L m³	計 m³	方法	数量 m³	方式	数量 m³	フォワーダ 片道搬距離 m	グラブル付きトラック 片道搬距離 m	数量 m³	森林作業道作設 林地傾斜	延長 m	2種 編柵 m	綠化 m³	薬剤 散布 (スピ イ)	鉄板 規格*枚数 φ				
28い7	水涵保	スギ	41	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	7.19	33	20	3,343	985	0.29	607	33	640	全木	985	プロセッサ	640	1343	640		急			BH0.45 30	C-80 120		住田町役場 16.9			
28い11	水涵保	アカマツ	45	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	0.77	33	20	197	62	0.31	42	0	42	全木	62	プロセッサ	42	1295	42		急									
28い12	水涵保	アカマツ	46	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	0.8	33	20	205	64	0.31	43	0	43	全木	64	プロセッサ	43	1107	43		中									
28い13	水涵保	スギ	46	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	1.01	33	22	335	112	0.33	74	0	74	全木	112	プロセッサ	74	1152	74		急									
28い23	水涵保	スギ	39	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	3.29	33	20	1,376	361	0.26	218	19	237	全木	361	プロセッサ	237	1657	237		急									
28い4	水涵保	スギ	37	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	1.09	33	18	504	139	0.28	91	1	92	全木	139	プロセッサ	92	239	92		中									
28は1	水涵保	スギ	35	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	7.88	33	18	3,627	1,005	0.28	644	10	654	全木	1,005	プロセッサ	654	588	654		急									
29い1	水涵保	スギ	30	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	1.79	33	24	1,007	396	0.39	262	0	262	全木	396	プロセッサ	262	272	262		緩									
29い7	水涵保	アカマツ	46	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	2.52	33	16	1,008	199	0.20	122	10	132	全木	199	プロセッサ	132	610	132		中									
29い9	水涵保	アカマツ	45	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	1.67	33	16	666	132	0.20	82	7	89	全木	132	プロセッサ	89	737	89		中									
29い19	水涵保	スギ	29	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	3.39	33	22	1,647	545	0.33	361	0	361	全木	545	プロセッサ	361	569	361		中									
29は4	水涵保	カラマツ	50	保護伐	皆伐	2.42	100	22	1,447	616	0.43	428	4	432	全木	616	プロセッサ	432	341	432		中									植付:カラコン5350本(2200本/ha)
30い8	水涵保	スギ	53	保護伐	皆伐	1.18	100	28	894	631	0.71	437	5	442	全木	631	プロセッサ	442	153	442		中									植付:カラコン2850本(2400本/ha)
合計						35.00			16,256	5,247	0.32	3,411	89	3,500		5,247		3,500		3,500		0		9,757		40	120				

1 量の端数は単位以下第1位を四捨五入し、単位止めとする。

2 面積は伐採面積とする。

3 森林作業道作設の林地傾斜欄は以下の区分とする。

緩:0° ~20° 、中:20° ~30° 、急:30° 以上

4 森林作業道作設の土質等欄は、作設に当たり特に留意する必要がある場合に記載する。

5 最寄りの市町村役場(支所含む)からの距離欄は、物件番号毎の代表箇所について市町村役場を記入し、距離は単位以下第1位止めとする。

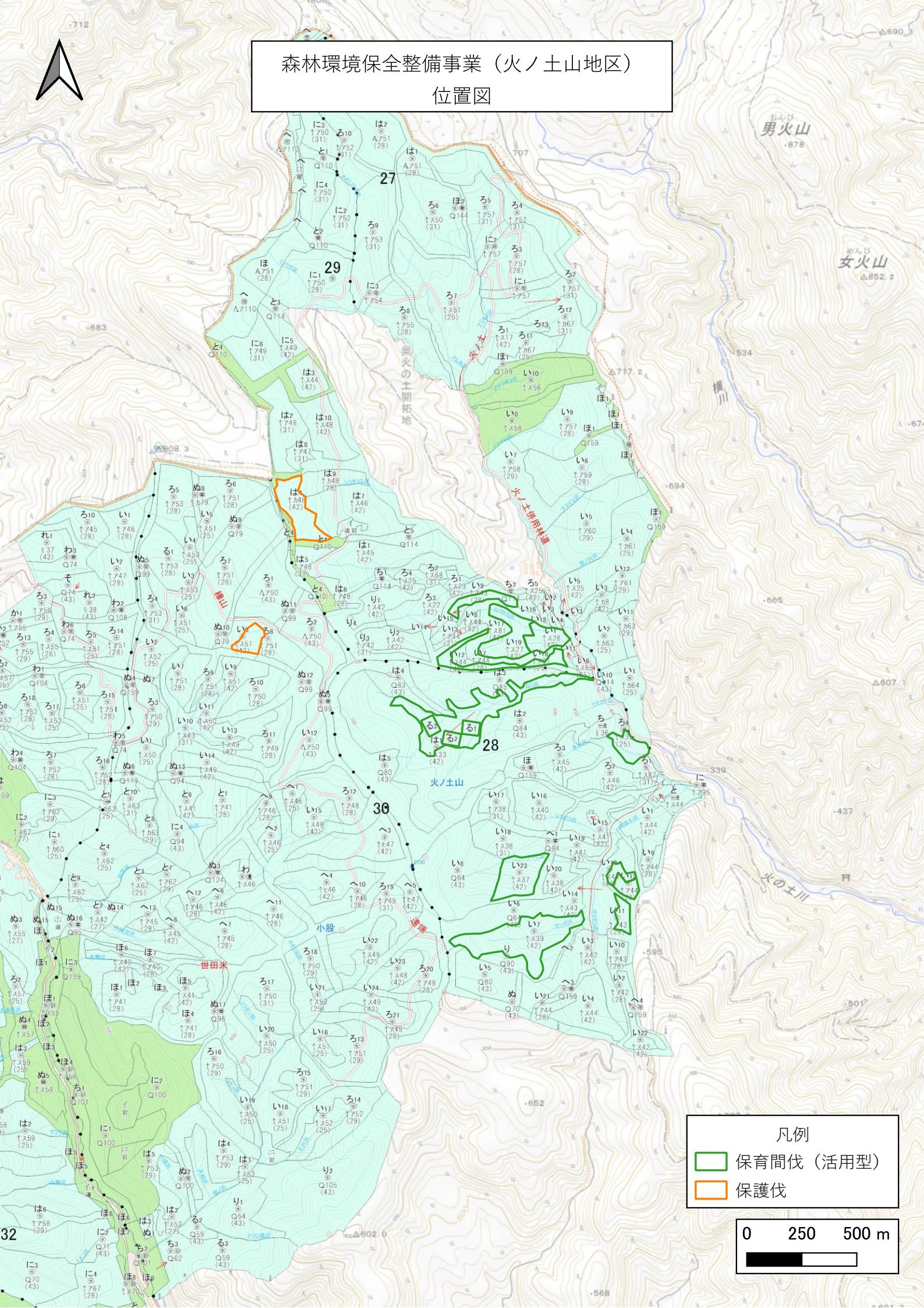
6 伐採箇所、土場、森林作業道作設予定線(既設集材路含む)、編柵および沢については、作業計画図に図示する。

7 その他必要な項目があれば備考欄に記載する。



森林環境保全整備事業（火ノ土山地区）

位置図



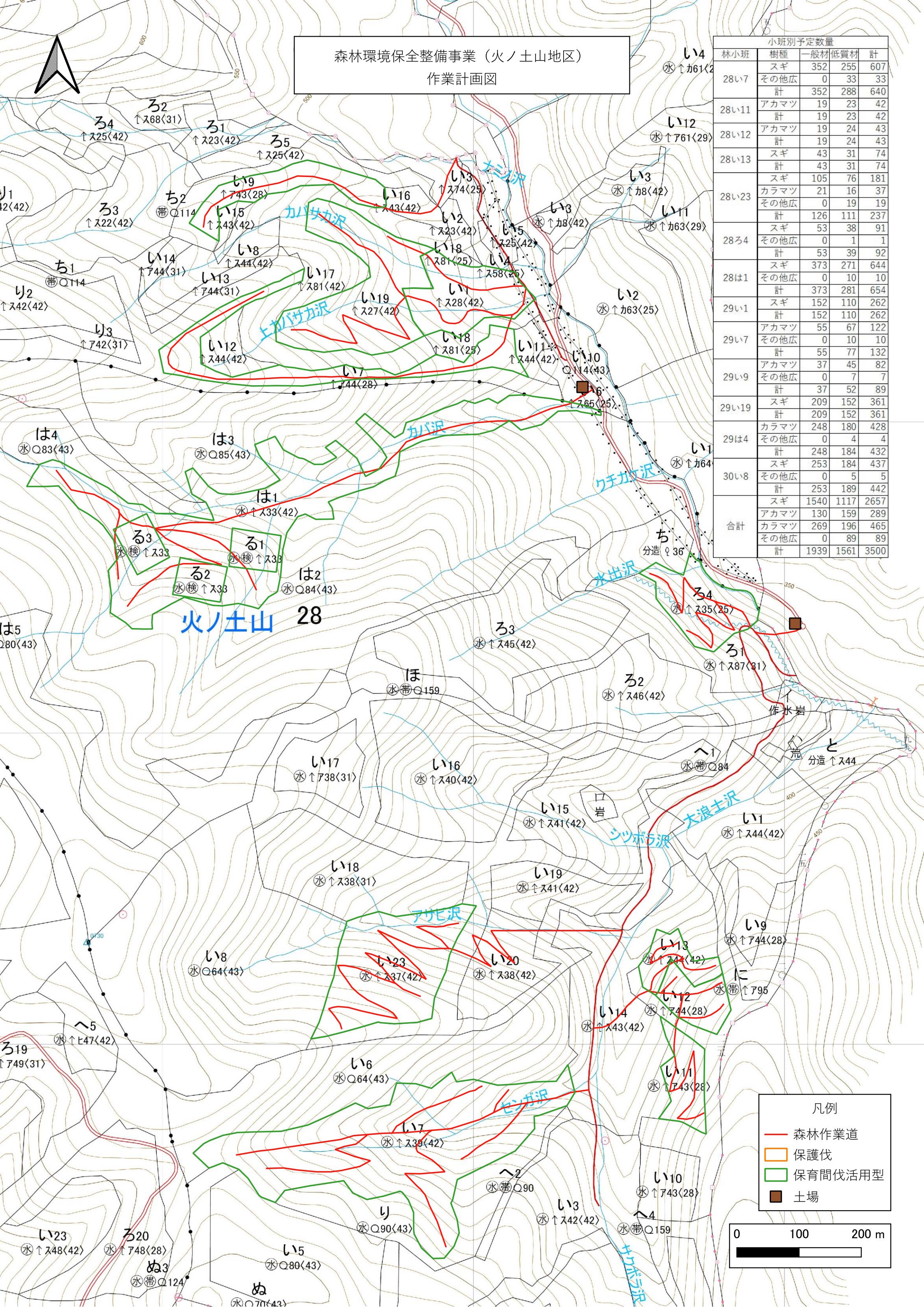
凡例

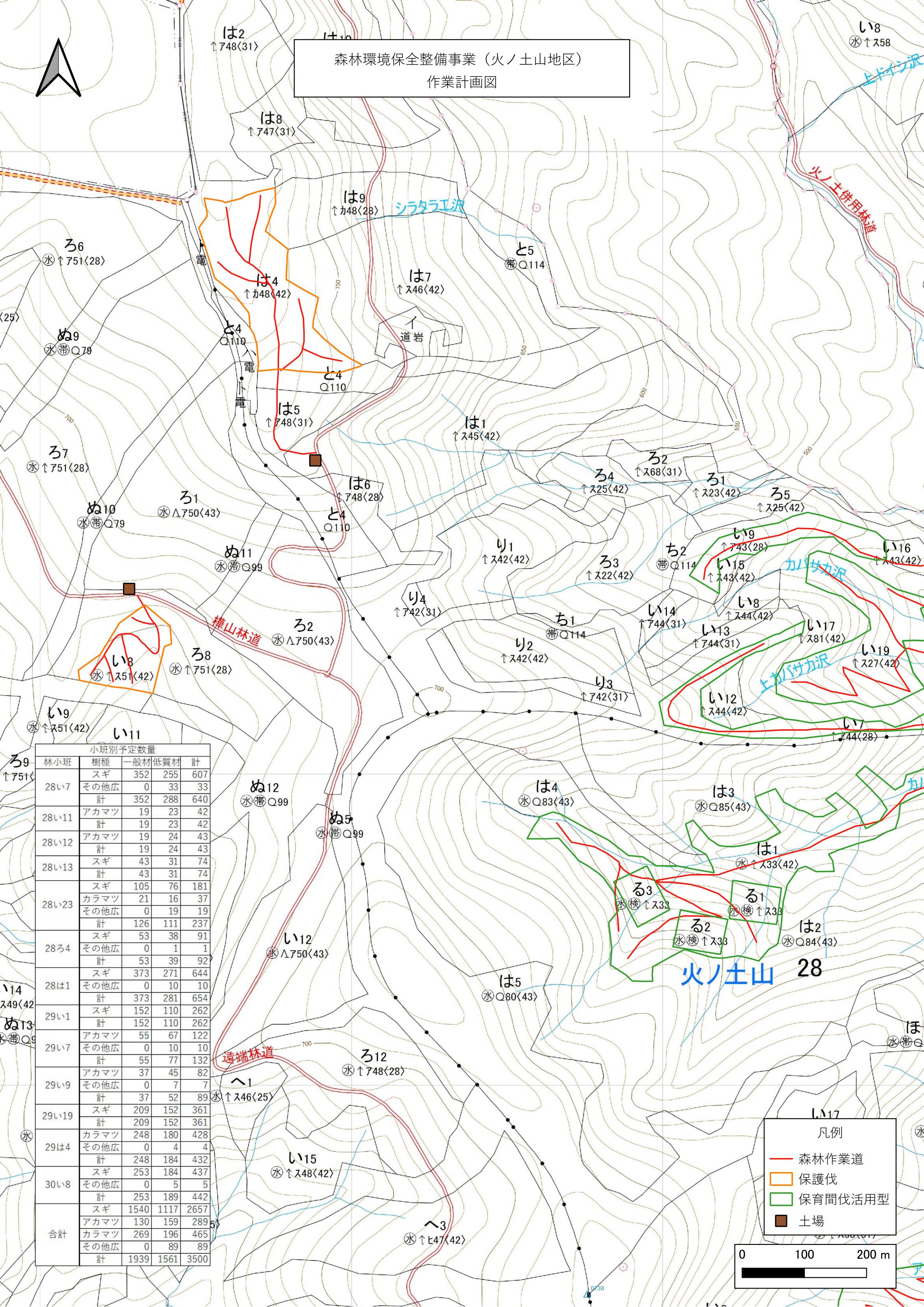
- 保育間伐（活用型）
- 保護伐

0 250 500 m

森林環境保全整備事業（火ノ土山地区）

作業計画図





検知業務請負作業内訳書

単位 : m³

物件番号	材種	作業工程	予定数量	備考
1号	素材	(1) の業務	1052	
		(2) の業務	887	
		(3) の業務	0	
		(4) の業務	0	
		(5) の業務	1561	
		計	3500	

注1 各物件の内訳数量を、検知業務請負契約の作業内容毎に基づき記載すること。

検知業務請負（作業内容）

(1) の業務 素材の長級・径級を測定、木口表示を行い、指定野帳に記入し、巻立標示板の貼り付け、スプレーの塗布を行う作業。

(2) の業務 素材の長級・径級を測定、品等格付け、木口表示を行い、指定野帳に記入し、巻立標示板の貼り付け、スプレーの塗布を行う作業。

(3) の業務 素材の長級・径級を測定、品等格付け、木口表示を行う作業、トラック運材の積み込み本数を確認し送状に記載・交付する作業、及び最終貯木土場において指定野帳に記入し、巻立標示板の貼り付け、スプレーの塗布を行う作業。

(4) の作業 素材の長級・径級を測定、品等格付け、木口表示、材積計算を行い、送状（概算引渡物件明細書）を交付し、スプレーの塗布を行う作業。

(5) の作業 低質材及び低評価一般材の層積検知（縦、横、高さを測る）を行い指定野帳に記載し、巻立標示板の貼り付け、スプレーの塗布を行う作業。

地拵条件因子表

植付条件因子表

シカ食害対策剤散布条件因子表